



三条北ロータリークラブ週報

**ロータリーを高めよ、
思いを尽くし、熱意を尽くし!!**

国際ロータリー会長 パウロ V. C. コスタ 第256地区ガバナー 原 猛

例会日
1990. 9 . 18
累計 No 187
当年 No 11

会長 / 今井 克 義

幹事 / 本間 茂 男

SAA / 堀川 正 幸

例会日 / 火曜日 PM12:30 - 1:30

例会場 / 三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局 / 三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 講話「家族の在り方」パストガバナー藤田悦量殿

出 席： 本日の出席 50名中37名

先週の出席率 50名中42名 88.00%

先週のメークアップ： 9月12日 三条RCへ 小林 満君 本間建雄美君

13日 燕RCへ 長谷川博一君

17日 三条南RCへ 中條耕二君 山口龍二君 鈴木英友君

吉川吉彦君 山上茂夫君 齊藤 正君

ビジター： 加茂RCより 田中芳和君 齊藤 実君 金子静夫君 本間庄松君 大橋栄雄君

佐藤芳孝君 小柳賢一君

三条RCより 野村竹三郎君 五十嵐 力君 上木六治君 加藤紋次郎君

村木 修君 大谷幸平君 渋谷健一君 堀川政雄君

三条南RCより 白倉修三君 長谷川晴生君

ゲ ス ト： パストガバナー藤田悦量殿

会長挨拶： 今井克義

今年度は今まで以上に、御夫人の方々から参加していただく機会を数多くもちたいと、本間幹事と相談しました。7月から12月までの上半期では、クリスマスパーティーも含めて4回計画いたしました。今夜はその2回目です。御案内のように、藤田パストガバナーから「家族のり方」ということで卓話をしていただきます。先週の例会での前会長の平松さんの説明のように、4年前に藤田先生がガバナーの時に、三条北ロータリークラブが生まれたわけです。ロータリークラブに入会して、最初に「ガバナー」という言葉を聞いて一体どういう役割の方かと疑問に思ったことを懐しく思い出します。新しく入会されてまだ間もない会員の方も何人かおいでですし、古くからの方でもそろそろ夫婦間の会話がとどえているところの御夫人の中には「ガバナー」という言葉を初めて聞いたという方もいらっしゃるでしょう。国際ロータリーでは、世界のロータリークラブを便宜上、

地区という単位に分けています。日本はたしか現在30以上の地区に分割されていると思います。新潟県は群馬県と一緒に第256地区です。その各地区ごとの最高指導者を“ガバナー”と称しています。ガバナーという言葉は統治するという英語 Government からたぶんきたものと思います。御存知のようにロータリーは、頂点のR I会長から下は各クラブの委員まで必ず任期は1年となっています。ガバナーの任期を終えられた方は“パストガバナー”と呼ばれて、ロータリーの色々な会合の時などのアドバイザーとして指導にあたっておられます。最近たまたま、藤田パストガバナーの文章を目にする機会が2回ありました。2部ともコピーをしてお配りしてあります。ぜひ、お読み下さい。藤田先生のお考えなり、お人柄なりの一端を知ることができるかと思しますので、このコピーをもって藤田パストガバナーの御紹介といたします。ガバナー月信に載った「青少年に憶う」の文の中に、校門の鉄扉に挟まれて死亡した高校生の事件のことがあります。私のまったく個人的な意見ですが、たしかに一人の命が失われたという痛ましい事実は事実としても、学校側、特に当事者の先生だけが悪者扱いに報道されていることに疑問を感じています。暖かい思いやりという中には、やはり大切なことは厳しく教えるということも未熟な若者に対する長い目で見た場合の思いやりではないでしょうか。今日は、藤田先生にそういった事を含めて、お話いただければ幸いです。

幹事報告： 本間茂男幹事

なし

ニコニコボックス：

- 藤田悦量君 久しぶりに北クラブに出席させて頂いて有難うございます。
- 今井克義君 藤田パストガバナーの卓話を感謝して。
- 山本賢君 夫婦そろって出掛けることが出来ました。大変ありがとうございました。
- 稲田憲治君 久々に2人です。今夜は腰に気をつけます。
- 長谷川博一君 9月6日の下田城CCでの北ロータリークラブ、ゴルフコンペで優勝させていただきました。感謝して。
- 小林満君 家族のあり方をニューボウの分まで勉強させて頂きます。
- 白崎哲男君 藤田パストガバナーの卓話を期待して
- 村山誠一君 藤田先生の卓話を聴ける事に感謝して。
- 坂内康男君 ボックスに協力。
- 本間建雄美君 本日の卓話大変楽しみにしています。
- 佐藤啓策君 藤田パストガバナーの御講演に感謝します。
- 樋口金占君 藤田ガバナーの卓話に感謝して。
- 梨本清一君 藤田パストガバナーのご来訪に御礼をこめて。
- 江口悟君 藤田パストガバナーの卓話に感謝して。

米山忠俊君 江口さんに協力して。

ロータリー財団：

佐藤義英君 藤田パストガバナーの卓話を楽しみに。

本間建雄美君 久しぶりの二人出席のロータリー心うきうきして。

加藤実君 我が家は家族として合格でしょうか？

講話： 「家族の在り方」パストガバナー藤田悦量殿



最近特に日本叩きの問題がさかんに言われている。日本では頭をたたくとお金が出て来るという風刺が新聞のマンガに載っていた。たたくられる理由はドイツの首相が言うには、①戦争の事で謝っていない②お金の使い方を知らない③黄色人種だからといわれている。黄色蔑視の中に日本人の未熟さを含めて言うのであれば仕方がないが、別のところらしい例えば低い開発国の援助に対して、お金の準備は出来ているが、直接出向いて行動していない等配慮が足りない。人は生まれてから今日までの生活の経歴の中で救われた助けられた感激がある場合は他の人に返す気持ちが出てくるのではないかと思う。これが社会奉仕の基礎である。青少年問題が大きく取り上げられている。現代では非行になる条件が一様ではないと言われている。昔は貧しいとか夫婦仲が悪い場合に多かったが、現在一見立派な家庭でも多く見受けられるようになって来ている。新潟県はその順位が全国のワースト3に入り県内でも三条がワースト3である。では非行に走らせる誘因と言うと第一に社会のあいまいさ、第2に家庭等の不満、第3に子供らしい時間を発散させることがなくなっている等である。中学になると落ちこぼれてくる。社会、学校に対する不満が非行に走らせる要因となっている。中学生の非行の始まりはまず食事の混乱である。不良姿勢交遊→暴走族→シンナー遊びへと移行する。最近はシンナーは注射からドリンクに変わって来ている。“では子供をどの様に育てたらよいか”。子供が生まれてくるまでは親は安定した生活の中で胎児の時から語りかける等慈愛ある態度で接するように心がける。そして3才になるまでは、なめるように大事に育てることである。3～7才までは人間として備えるべきマナーを教え込む。1つには挨拶することを厳格に教える。人に対して挨拶することが社会に出るパスポートである。そして挨拶の基本は自分から先にすることである。自分からする人の方が良い通行手形を持っていると思う。大切なことは社会に出て人と交わる事の出来る子供に育てることである。それには地域にあって、隣人と美しく、楽しく暮らす姿勢を見せることで、今の家庭は閉鎖的になって来ている。また、日本の場合はベタついた交際が多いが外国では他の家のトイレを借りるのは良くないの例があるように、訪問してもスマートに30分から1時間位で訪ね合うルールがある。地域の中にあって連帯感を持って生活して行く中で、子供は良くなってゆくものである。非行問題を取り上げても解決にはならないのである。要は家庭での親たちの教育こそ必要である。

誕 生 日	10月1日	平松利朗君	10月1日	外山真智代様
	10月5日	齊藤 正君	10月18日	長谷川友恵様
	10月14日	山口龍二君	10月30日	本間 絹枝様
	10月16日	笹原勝治君		
	10月19日	佐藤啓策君		
	10月25日	早川龍雄君		
	10月30日	内藤 修君		
結婚記念日	10月1日	山崎 勲・八重子ご夫妻	10月15日	平松利朗・正 子ご夫妻
	10月5日	齊藤 正・清 子ご夫妻	10月16日	小林 満・正 子ご夫妻
	10月10日	佐藤啓策・弘 子ご夫妻	10月21日	原 茂之・裕 子ご夫妻
	10月10日	大野新吉・勝 子ご夫妻	10月22日	高橋彰雄・淳 子ご夫妻

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

9月25日例会： クラブアッセンブリー「IGF報告」

10月2日例会： 外部卓話 NTT三条支店長 濱 潔様